

# アワビの採卵・ふ化幼生回収から飼育板付着について

岩手県水産技術センターでは、被災したアワビ種苗生産体制の早期復興に向け、従来よりも効率的な種苗生産技術を研究しています。今回、「二次成熟卵を用いたエゾアワビ種苗生産技術の開発」(同じ親から2回採卵し、親貝数を節減する。)の研究のため、エゾアワビの採卵・ふ化幼生回収・飼育板付着作業などを行ったので紹介します。今後稚貝の成長や生残等を調査する予定です。

## 7月14日 採卵作業



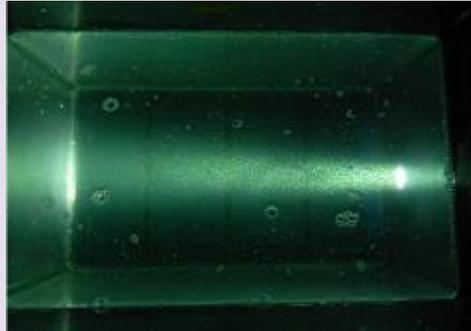
受精卵を收容する水槽を準備



水槽内で産卵しているアワビ



別の水槽に取り出した卵に  
ジョッキに入った精子をかける



水中を漂う受精卵

## 7月15日 ふ化幼生飼育



ふ化した幼生が泳いでいる  
かを確認



飼育板  
へ付着  
7/18



ふ化した幼生を飼育槽へ移動



幼生の  
顕微鏡  
写真  
(卵の分  
割が進ん  
でいる。)

